

- 近鉄難波駅から天理駅まで約1時間
- 京都駅から天理駅まで約55分
- 近鉄名古屋駅から天理駅まで約2時間30分
(大和八木駅まで特急利用)
- バス 天理駅から天理ダムまで約20分
※本数が少ないため要確認
- バス時刻のお問い合わせ
奈良交通テレフォンセンター
☎(0742)20-3100

● 地図内の数字は、出発地点からの実測距離
(メートル)を表わしています。

このコース地図は2004年2月1日調査に基づいて作成しています。
風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがあります
ので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ
天理市商工観光課 ☎(0743)63-1001

● コース内の神社仏閣、
施設等には、有料の個
所があります。



コースのあらまし 天理ダムバス停留所は標高約270m、ここから龍王山頂まではゆるやかな登り道がつづく。道標をたよりにのどかな農道を歩くことおよそ1時間、やや急になった坂を登りきると龍王山城北城跡に着く。そこから南城跡へ。山頂からは大和三山を望むことができる。城跡の遺構をあとに、植林と龍王山古墳群が不気味に静まりかえる道を一気に下る。行燈山古墳(崇神天皇陵)近くで山の辺の道と合流、ほどなく長岳寺へ。

ジャンジャン火伝説 信貴山の松永氏に滅ばされた十市氏の怨霊が火の玉になったという伝説。龍王山から飛び出た火の玉が村人たちを震えあがらせたという。現われるのは今にも雨が降りそうな夏の夜、見たり叫んだりすると襲われるとか。

龍王山 山の辺の道から仰ぎ見る青垣の山々では一番高い。柿本人麻呂の名歌を引手の山に妹を置いて山路を行けば生けりともなしに詠まれた「引手の山」はこの龍王山といわれる。龍王社が2つあり、雨乞い信仰の祠。また山頂の南城跡には、フィールドアスレチック風見晴台がある。

龍王山城跡 中世の豪族、十市氏が築いた大和を代表する山城の跡。天文年間(1532~55年)十市遠忠が礎を構え、十市城とも呼ぶ。のち松永氏・秋山氏が入城、織田信長により廃された。山頂付近は南城跡、その北根根が北城跡で、本丸・竪堀・石垣などの遺構がいろいろと残る。奈良盆地と大和高原を結ぶ要衝の地にあり、城跡から奈良盆地や金剛生駒連山を眺めると、中世の武将気分がひたれそう。

龍王山古墳群 龍王山の西斜面、標高150~450mに点在する古墳群。円墳と横穴がそれぞれ300基、あわせて600基に及ぶ。珍しいのは横穴で、崖や山腹など自然地形をそのまま利用している。植林内に点在し、さながらお墓の団地のよう。6世紀~8世紀にかけての古墳といわれるが、調査はほとんど行なわれず、謎の眠りに付いている。

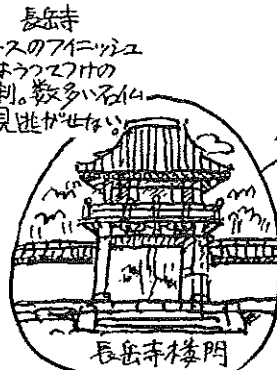
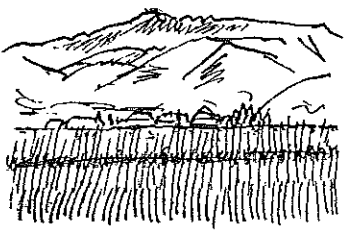
長岳寺 「釜口のお大師さん」とよび親しまれている。阿弥陀三尊像・楼門・庫裏などの重要文化財や石仏が多い。龍王山頂近くには長岳寺奥の院とよばれるところがあり、若々しい表情をした肉厚の不動明王石像(鎌倉時代作)と石碑がひっそりたたずむ。

● 約9キロ[天理ダム~龍王山~龍王山古墳群~長岳寺]

龍王山展望コース

ハイキングのエチケット
 *ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
 *山火事防止のためタバコに注意しましょう。
 *大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

きれいな思い出 きれいな自然
 ゴミやアキ缶は、持ち帰りましょう



天理市